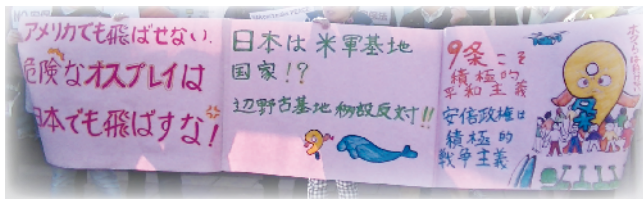


● 辺野古問題と地方自治の危機〈最終日の意見討論から〉



市民からの陳情のうち、「政府並びに東京都に辺野古の埋め立て工事と機動隊派遣を中止するよう意見書提出を求める陳情」について、採択すべきものという立場で意見討論を行いました。

選挙のたびに示された沖縄の「基地反対」の民意を、政府は「安全保障は国の専権事項」として事実上無視してきました。けれども翁長知事が国連人権委員会で訴えた通り、地域には地域の自己決定権があります。私は、地元の理解を得る努力を最初から放棄している政府の態度を批判しました。

特に力説したかった部分を以下に引用します。

「安全保障はその国で暮らす人間全てに大きな影響を及ぼすものです。もしも自国が戦争状態に陥れば、住民は安全面からも経済や情報の面からも制限と阻害を受けることになります。戦争を決めるのは政府であっても、現実には爆弾や戦闘機が飛んでくるのは私たちの頭の上なのです。ましてや、戦争となったら真っ先に狙われるのは基地ですから、在日米軍基地の7割が集まる沖縄の人たちにとっては喫緊の死活問題となります。横田や厚木、福生など近隣地域に基地がある多摩市にとっても、他人事とは到底言えません」

陳情は賛成多数で採択されましたが、全会一致でないため今回も意見書提出は見送りとなりました。

● 多摩市に特別秘書は必要か？

本議会において、私たち生活者ネット・社民の会が反対に回った議案がひとつだけありました。第119号議案「多摩市特別職の指定等に関する条例の制定について」です。

これは阿部市政のひとつの柱である《スマートウェルネス

シティ》実現に向け、国から人材を呼び特別秘書として2年間専門的に取り組んでもらう、という話です。位置的には副市長より下で部長職より上となり、各部を横断してトータルマネジメントを行っていくのだという説明を受けました。

総務常任委員で会派代表の向井かおり議員が質疑し、最終的に反対の意見討論を行いました。その主旨は

①厚労省よりも自治体の主体性が劣る場合、特別秘書というパイプ役を招くことによって、国の施策を押し付けられることへの懸念。

②かつてない組織の危機（職員の不祥事、新規採用者の辞職、団塊世代の一斉退職）がささやかれる今こそ、課題を糧に“強い多摩市役所”を作ること優先すべき

この2点に集約されます。

反対したのは私たちの会派だけでしたので、賛成多数で議案は可決されました。決定した以上、私たちも協力して市政の推進にあたることとなりますが、今回のケースでは地方自治体としての多摩市のあり方について改めて考えさせられました。まちづくりに必要なのは国と繋がりがある臨時の戦力よりも、市に腰を据えて働く人材の育成ではないのかと。

阿部市政が何をゴールと見定めて動いていくか、今後も目を凝らしていきたいと思います。

いぢちきょうこの議会報告会
「多摩市議会ジャストナウ」

日時：2月13日(日) 13:30～ 入場無料。

場所：豊ヶ丘地区市民ホール(豊ヶ丘福祉館)第1会議室

(多摩センター駅から8番バス「豊ヶ丘4丁目」下車 徒歩5分)

昨年12月定例会のご報告＆多摩市の未来を考えるトークタイム。

自分たちが住むまちの《未来》を描く青写真は、

市民主体で考え・つくる。

そのためにまず勉強と準備の拠点づくりを提案します。

目の前の《いま》と理想の間に、

頑丈なハシゴをかけていきましょう！

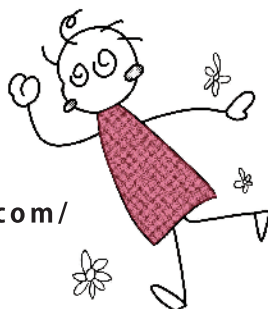
街頭ではコミック・レポート『タンバリン通信』を
お配りしています。

バックナンバーをブログに載せていますので、是非ご覧ください。

公式ブログ『キョーコ式ランドスケープ』

<http://kyokolandscape.blog.fc2.com/>

※ブログのリニューアルを予告しましたが現在遅延中。申し訳ありません。



- お困りごとがありましたら、
- お気軽に下記へご相談ください。
- また、「伊地智恭子とまちづくりの会」
- (年会費1,000円)はいつでも会員募集中!
- ご寄付やボランティアも大歓迎です。
- ご連絡をお待ちしています。
- TEL / 042-400-6264
- E-mail / ipanema_red@yahoo.co.jp
- 伊地智 恭子(社民党)